

技術センターを未来に引き継ぐために

技術統括 岩谷 秀秋



技術センターを未来に引き継ぐために、現状把握と目指す将来像について色々の機会を通じ議論を進めています。今後取り組む課題については将来構想検討ワーキンググループなどの場で検討され、明確に見えてきたところです。

技術センターの課題

1. 技術センターの活力を生む技術支援の創生
1. 新しい技術力の開発と成長
1. 教育・研究に期待される技術支援の確立
1. 教育・研究に対する技術支援の集中と選択

更に検討を要することとして、技術センターへの関心が高まるとともに大学での技術センター活動が盛り上がり、その活動により技術センターの価値がさらに高まっていく、“持続可能な技術センターづくり”を目指すことが大切です。そのためには最善の技術センター運営が必要不可欠で、技術センター職員の英知を集結していきたいと思う次第です。技術センター職員の活躍により大学の構成員としての存在意義を高め、技術センターが総力を挙げて上記の課題に取り組む姿勢を発信しなければなりません。

課題の解決については適性配置に基づく正当な評価などの環境整備が急務です。技術センターの連帯意識を高め、技術力のプラットフォーム（土台）を固めて新しい企画に挑戦し、これまで以上に前進した成果を得なければなりません。実際には、装置の設計製作、コンピュータのプログラム製作、その他の技術などを開発し、新しい技術支援を通して技術力の向上を目指したいと考えます。また、ソーシャル・イノベーションにより活性化した技術支援現場をつくり、技術センター職員の仲間が未来に引き継ぐ堅実な技術センターになることを期待します。今後、世界トップレベルの総合大学を目指す広島大学の実現に向けて積極的な役目を担えるように技術職員各自が得意とする技術の発展と開拓に精進してまいりますので、皆さまにはご支援ご協力いただきますようお願いいたします。

平成19年3月